

未来予想図の策定にあたって

— 第 2 回 あまがさき創生に向けた意見交換会 —

平成27年 7月29日

尼崎市企画財政局政策部まちづくり企画・調査担当

未来予想図2045

メリハリ
打ち出し方

健康

生産年齢人口の減は産業界も危惧

女性の働き続ける環境づくり
若い人を育てる意識があまりない？

がんばる子を応援する仕組み

学校が荒れている？⇔ 教育を突破口に

クリエイティブな子どもを育てる

学力のランキングだけではない評価
ガリ勉を育てるまちでいいのか

おもしろがる
学校だけでなく地域が教育に関わる

へえ〜がわかる

教育とは様々な経験

産業振興条例に基づく事業の再構築

若者・女性の就労支援サポート

ヘルスアップ尼崎戦略

介護予防・認知症予防、ケア等の支えあいの仕組みづくり

教育振興基金

まち大構想

実践型長期インターンシップ

子どもの育ち支援センター機能の充実

子どもの貧困問題はここに

学校・社会教育と人材育成

仕事の創出・就労と所得水準の向上

超高齢社会への対応

所得が低い

高齢者に対する社会補償に費用を注ぎすぎ

小学校前に転出

住みやすいが住みたいとは思わないまち

オモシロイとワカモノに思ってもらおう
芸術・アート

立地適正化計画の策定

市民参加型シティプロ

城内整備

総合的自転車政策

臨海部の魅力創造

老朽空き家対策に係る条例制定

シビック・プライドの醸成

シティプロ・ブランドの見える化
言われてつくるもの？

人がおもしろい

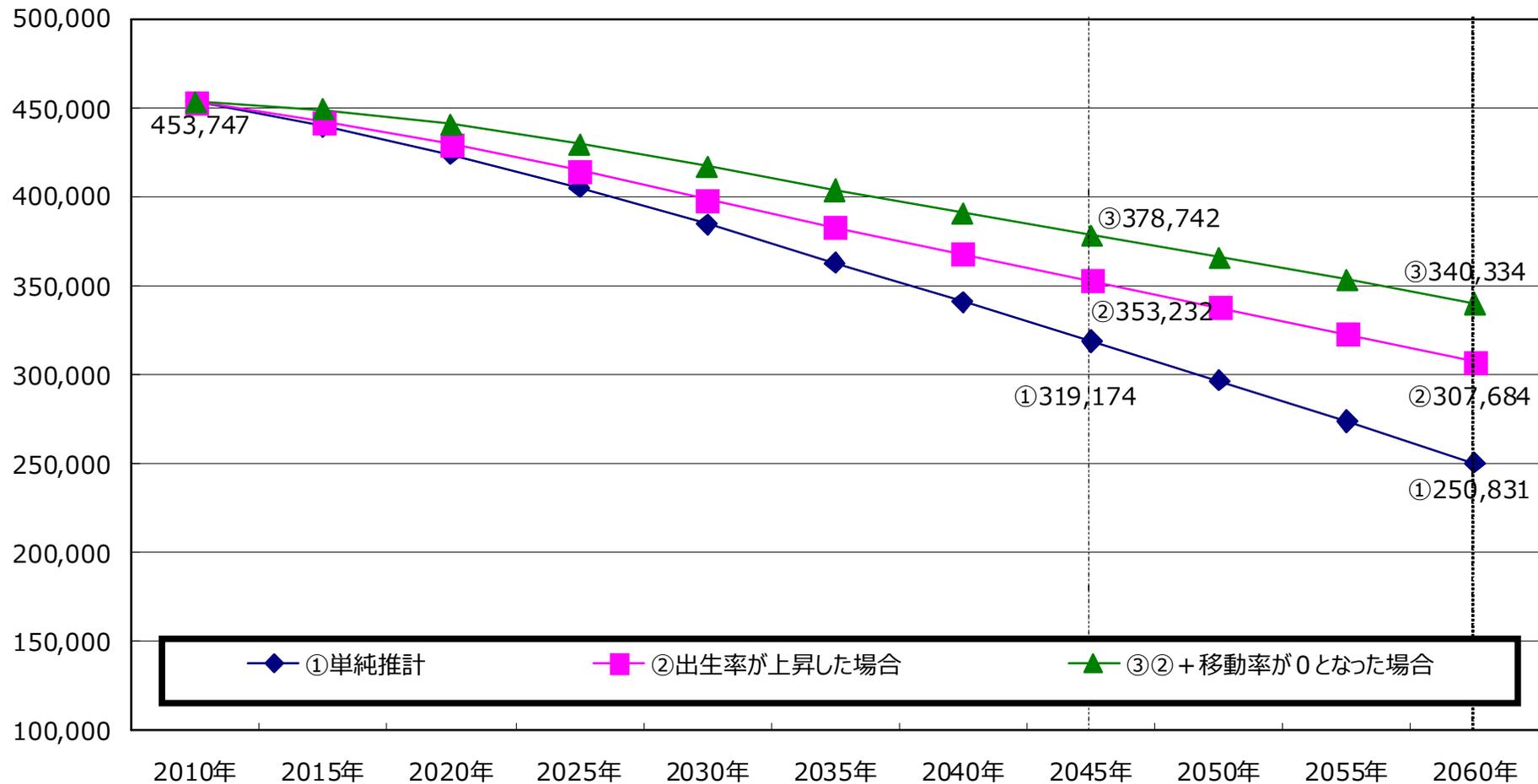
公共施設マネジメント計画の策定

みんな誰かがしてくれると思ってたらダメ！

土地利用と公共施設の見直し

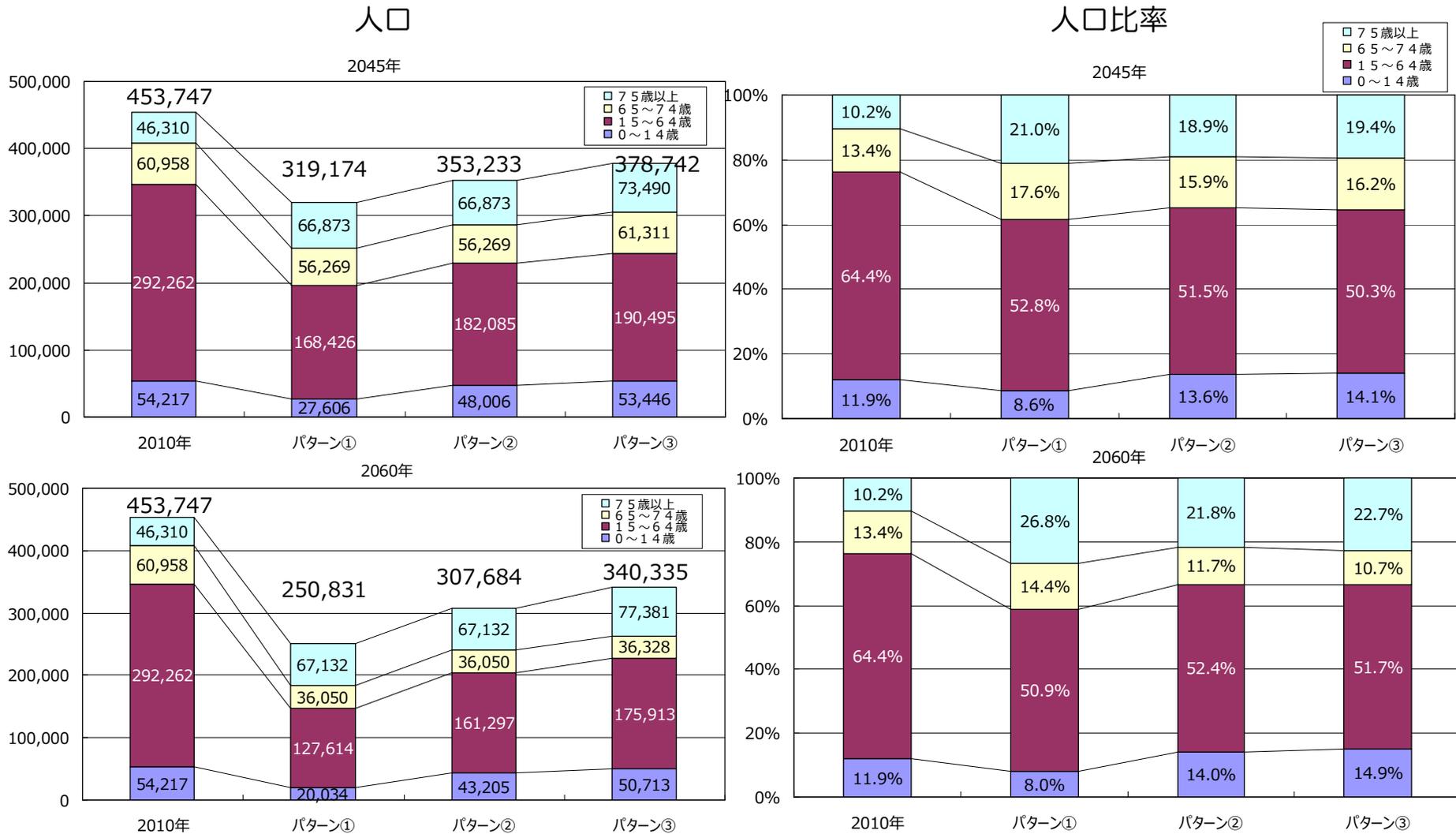
人口ビジョン概要①

尼崎市における将来推計人口（社人研ベース）



- ①これまでの人口動態が継続する場合...人口は2060年に25万1千人まで減少。
- ②出生率が2030年に1.8、2040年に2.07まで回復した場合...人口は30万8千人に。
- ③②に加え、尼崎市の社会移動がなくなった場合...34万人と推計されます。

人口ビジョン概要②



人口が減少傾向にある中、持続可能なまちを目指していくには、人口だけでなくその年齢構成について、しっかりと考えていくことが必要です。

人口ビジョン概要③

人口減少や年齢構成の変化はあまがさきの未来にどのような影響を与えるのか

- 地域コミュニティはどうか？
- 教育機関への影響は？
- 地域生活・公共交通への影響は？
- 市民税（法人税）など市財政への影響は？
- 生産年齢（15～64歳）の捉え方はこのままでいいのか？
- 地域経済規模や労働力人口の推移は？
- 社会保障関連経費への影響は？
- 公共施設等の維持・管理への影響は？
- 尼崎独自の課題はないのか？

今後人口ビジョンを策定していく中で客観的に分析

反映

総合戦略

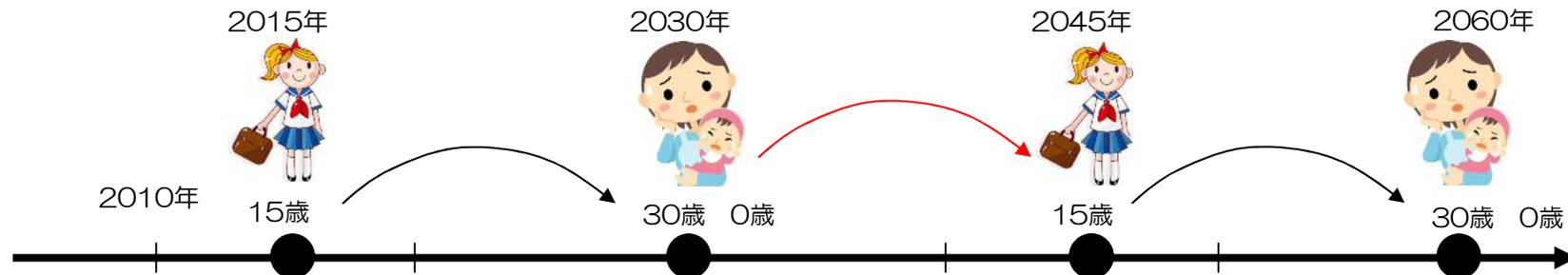
反映

未来予想図

本日のテーマ

2045年に人口減少等により、考えられる影響について意見をお聞かせください

(2045年のイメージ)



(参考) 総合戦略と未来予想図について

尼崎人口ビジョン (2060年の人口の姿を分析)

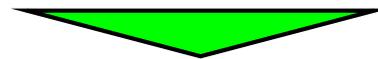
尼崎市の人口動態を分析し、将来展望を提示。人口に関して地域住民と認識を共有し、これから尼崎市に必要な施策を検討し、実行していく基礎資料とする。



尼崎版総合戦略 (計画期間：平成27～31年度)

尼崎人口ビジョンや尼崎市総合計画を踏まえながら、尼崎の実情に応じた今後5か年の施策の基本的方向や具体的施策を提示する。

総合戦略策定や市制100周年をきっかけに、まちの未来を提示できないか



(仮称) あまがさき未来予想図

国や行政内部の計画としての意味合いが強い「総合計画」や「総合戦略」とは別に、市民向けにイラストを用いるなどして「あまがさきの未来」を、分かりやすく示す。

(参考) (仮称) あまがさき未来予想図の概要 (案)

表

30年後のあまがさきの姿を
イラストで照会



裏

総合戦略の6つの柱を基本に
30年後のあまがさきライフを記載

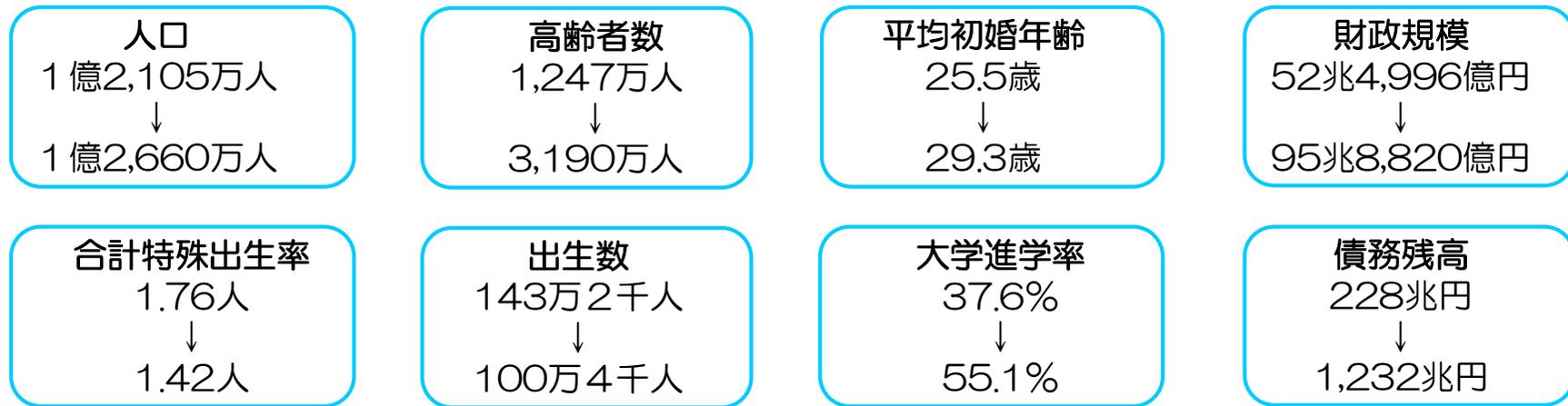


設定は30年後(2045年)とします

未来予想図の検討にあたり① 30年前（1985年・昭和60年）の日本を振り返る

【総理大臣：中曽根康弘】

上段：1985年 下段：2015年（それぞれデータの把握できた直近の数値）



【日本での出来事】

| | |
|----|--|
| 4月 | 日本電信電話公社（電電公社）が日本電信電話株式会社（NTT）に、日本専売公社が日本たばこ産業株式会社（JT）に民営化 |
| 5月 | 男女雇用機会均等法が成立 |
| 6月 | 神戸淡路鳴門自動車道の大鳴門橋が開通 |
| 8月 | グリコ・森永事件で犯行グループから終結宣言が出される |
| 8月 | 日本航空123便が御巣鷹の尾根に墜落。乗員・乗客520名が亡くなる |
| 9月 | NTTが携帯電話「ショルダーフォン」を発売 |
| 9月 | 任天堂が「スーパーマリオ」を発売 |
| 9月 | プラザ合意。発表の翌日1ドル235円から約20円下落、1年後には150円台に |

未来予想図の検討にあたり② 約30年前（1985年・昭和60年頃）の尼崎を振り返る

【市長：野草平十郎】

上段：1985年 下段：2015年（それぞれデータの把握できた直近の数値）



【尼崎での出来事】

| | |
|--------|-------------------------------|
| 59年1月 | 国鉄塚口駅と尼崎港駅を結ぶ尼崎港線の貨物運転が廃止 |
| 59年4月 | 社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団が設立 |
| 59年12月 | グリコ・森永事件の影響で、森永製菓の塚口工場などで減産体制 |
| 60年4月 | 尼崎交通事業振興協会を設立 |
| 60年6月 | 三反田町に教育・障害福祉センターがオープン |
| 60年7月 | 核兵器廃絶平和都市宣言を全会一致で採択 |
| 60年9月 | グンゼ塚口工場跡地に「つかしん」が開店 |
| 60年10月 | 尼崎浪速信用金庫が「阪神タイガース優勝記念定期預金」を発売 |
| 61年4月 | 財団法人あまがさき未来協会が、外郭団体として設立 |
| 61年7月 | 尼崎市防災センターが業務を開始 |

市制70周年

未来予想図の検討にあたり③ 30年後はどのような出来事が起きると予想されているのか

(新聞等で報道されている2045年近辺の出来事を抜粋)

